

総務部

部長 皆川 ヒロ子

高齢者の安全と学びを支える

総務部長は初代から数えて、私で8代目です。平成30年(2018年)に前近藤部長から引き継いで7年目になります。

総務部は①会長・副会長研修会、②総務部講演会、③単位クラブ新任会長研修会、④会長・副会長新年会、⑤横浜シニア大学の運営等を行っております。

会長・副会長新年会は令和5年度から枠を広げて、部会員まで参加可能となりました。

講演会は令和5年からオレオレ詐欺で被害に遭う方が多いので、「もう、だまされない、賢い消費者になるために」を神奈川県消費者生活センターより講師を招き講演を行いました。

令和6年度の横浜シニア大学は「お1人様の老後」等、高齢化が進んでいるので独り暮らしになるような生活になるのか、講



総務部講演会の1コマ

習を受けて損のない講義を入れました。
会員の皆様におかれましては今後とも総務部主催のいろいろなイベントに参加して下さるようお願い申し上げます。

広報部

部長 小島 克行

情報を届ける広報の充実

広報部は平成30年5月の都筑区老連総会の議を経て、総務部より分離・独立して発足しました。

受け継いだ業務は「かがやきだより都筑」年2回(6月1日、1月1日)発行と、「かがやきだより都筑」投稿者の集いの開催、区老連・区老連各地区の広報活動です。

さらに区老連の活動をタイムリーに会員に伝えるために「かがやきだより都筑」を「かがやきだより横浜」と同様に年4回の発行にできないか? との提案があり、制作・印刷の(株)ニチコミと相談しましたが、予算の都合上難しいということがわかり断念しました。

その代案として「フォトニュース(写真を中心として編集)」を年2回(10月1日、3月1日)発行することになり、現在に至って



投稿者の集いで意見交換

います。
現在、広報部員は8人いますが「どうすればもっと仲間に読んでもらえるか? 活動の楽しさが伝えられるか?」をモットーにワイワイ・ガヤガヤ・より楽しく一層充実した「かがやきだより都筑」「フォトニュース」を編集・発行していきたいと思っています。

文化教養部

部長 平野 輝男

3つの事業と円滑な運営

文化教養部には3つの事業があります。

3つの事業に近況について紹介いたします。

①俳句の集い

今回は創立30周年記念第18回「俳句の集い」ということなので、10年以上講師として指導していただいている野木桃花先生に相談して8月に開催することになりました。また、創立30周年を記念して「いつでもどこでも気軽に俳句」というキャッチフレーズをいただきました。

③歴史講座

都筑区の歴史について横浜歴史博物館において、講師を副館長の刈田均さんをお願いして実施しています。地味な話ですが、自分達の身近な話なので非常に人気がある講座です。

②ことぶき趣味の作品展

展示品は絵画、写真、手芸、工芸、短歌、俳句、川柳、書です。作品は深味のある作



一般参加者の作品

レクリエーション部

部長 長和 義雄

老人クラブの向上を目指して

レクリエーション部は、老人クラブの健全な発展と高齢者の福祉の推進を図るために区老連では左記3大事業を企画・実行しています。

各行事の沿革を紹介します。

①囲碁・将棋大会

区老連創立と共に始まった本大会は今年で30回目の大会となります。A・B・Cの各クラス優勝者は市老連の大会に出場します。

②福祉芸能大会

今年で27回目になります。第15回大会まではカラオケを含めた大会でしたが、第16回大会からは歌部門（民謡は除く）を分離して開催することになりました。近年は踊り・民謡・詩吟・ハーモニカが主流となっています。最後に都筑音頭を皆で踊り、抽選会を実施して楽しんでいます。

③カラオケ大会

芸能福祉大会からカラオケを分離して13回目の大会になります。今年度から横浜市老連のカラオケ大会が中止になったので、選抜も中止となりました。



レクリエーション部のメイン事業の一つ

健康・スポーツ部

部長 河合 哲

スポーツ活動の展望

【活動目的と役割】

人生100年の時代がやってきている今、「健康寿命をどうやって延伸していくか」が大きなテーマになってきています。その手助けとして室内外で気軽に楽しめるスポーツイベントを企画・運営することが我々健康・スポーツ部に求められている役割かと考えています。

【活動内容と今後の展望】

毎年実施している大会には多くの参加をいただき、特にグラウンド・ゴルフは400人を超え、運営側も緊張する大会となりました。

ゲートボールについては減少傾向で、特定の地区のみでの開催になっています。新しいスポーツとしてボッチャを取り入れ、市老連主催の養成講座へも参加、体験会の実施、30周年の記念大会も開催しました。今後も競技人口の裾野

拡大へ結びつけられればと考えています。今後の展望としてスポーツ吹矢・ボッチャなどの室内競技の体験会を多く計画、より多くの会員の参加を促進できればと考えています。



30周年記念のスポーツ大会

女性部

部長 登山みさ子

多彩なイベントを楽しんでいます

私が女性部に入会して10年、楽しい仲間恵まれ、女性部担当理事の永田副会長にはいつもあいさつをお願いしております。

部員全員の協力と参加で楽しんでいきたいと思っています。よろしくお願いします。

女性部は次の5つの行事を行っています。「編み物教室」では副部長の辻さん、斎藤さん、四ッ本さん、岩澤さんに買い物から編物の指導まで行っていたいております。「施設見学会」は重田さん、下村さん、倉林さんをお願いしています。「認知症サポーター育成講座」は最近転ぶ人が多いので「ふまねつ」と「頭の体操」に力を入れています。足を上げて歩くことと口の中を大きく動かす運動は栗原さん、五十嵐さんに頑張っていただきたいと思っています。「茶道講習会」では南川さん、登山と全員の協力で行っています。「上を向いて歩こうウォーキング」は健康・スポーツ部河合部長に協力



茶道講習会での集合写真

友愛活動部

部長 永田 麗子

友愛活動の基本

友愛活動は同じ時代を生き延びた者同士の心と心のつながりを基本にした活動です。

私たちが高齢になつて病氣やひとり暮らしになると外に出たり人に会うのがおつくうで家に閉じこもりがちになり、生きる意欲も衰え、心細い日々を送ることになります。そんな時、あいきつを交わしたり話を聞いてくれる人たちがいたらどんなに心強いでしょう。話し相手を通じて孤独を和らげ、孤独を防ぎ、いきいきとした暮らしができるように支えようというものです。

誰もが老いを迎える中で、仲間として話し合い、共感し合えることでともに生きる力が湧いてきます。

そんな活動が老人クラブの「友愛活動」です。都筑区老連友愛活動部員による居場所（サロン）は49クラブ中44クラブの約9割で実施。地元でのサロン活動は歩いて行け

る、楽しいおしゃべり等、外出の機会が増えます。

2015年に完成したマップは全老連の大会で「地域支え合いの実践ケース」として報告し、他県からも問い合わせがありました。

最初は市長名で1期3年友愛活動推進員とし委嘱、民生委員と保健活動推進員との合同研修でした。平成20年6月から友愛活動員として市老連理事長名で1期2年となり現在に至っています。

友愛活動は地域の特性を生かし工夫して一人でも多くの方が参加いただけるよう願っていますが、活動員や会員の高齢化でチームが解散するなど参加者の減少等の課題が出てきています。

各位が元気で活動していただけるようお願いしています。



各地区の推進委員の方々



東光会

【会長名】酒井 一郎
 【創立年月日】昭和36年9月1日
 【会員数】男24人 女28人 計52人



活動概要と展望

東光会は健康と生きがいを目標に活動を行っています。健康づくりは、グラウンド・ゴルフ、ペタンクを主に、グラウンド・ゴルフは会員の多数の方が参加されプレーを楽しんでおります。公園においては、清掃・花壇の整備・花植えを年に数回行い、花の咲く時期には近所の皆さまから綺麗だねと言葉をいただいています。月に1回、例会・誕生会・カラオケ会・座談会等を開催。また年に数回、旅行・花見などを行い、親睦を深めています。会員一同これからも地域の方に参加を呼び掛けてクラブを続けてまいります。

中川地区

中川地区は自然林に囲まれた街の中央を早瀬川が流れるのどかな農村地帯でした。それが都筑区になった20年前から地下鉄が開通し、勝田橋をはじめ幹線道路が整備され、商業地区へと変貌しました。それとともに、老人クラブの会員も急増し活動も盛んになりました。

現在、中川地区老連は17クラブがあり、男性422人、女性662人、合計1084人となっています。

この30年の中川地区の記録をひもとくと、スポーツ関係では市老連代表大会に出場したり、ねんりんピックで好成績を収められた方々がたくさんいます。

また最近、会員の高齢化とともに、作品展や俳句の集いなど文化教養面への参加が盛況となっています。

南山田末広会

【会長名】栗原 保子
 【創立年月日】昭和36年9月2日
 【会員数】男24人 女64人 計88人



活動概要と展望

今年、創立63年を迎え平均年齢82歳のクラブです。ペタンク、グラウンド・ゴルフ、カラオケ、編み物、麻雀、二つの公園掃除が主な活動です。新規加入者が毎年数人あるものの会員数の減少は止まりません。毎月第3土曜日は誕生会・友愛会を町内会館で行っています。誕生月・傘寿の方のお祝い、ケアプラザによる講座、体操会、落語会、ボッチャ、輪投げ、マグネットダーツ、カラオケ等で楽しんでいます。どうしたら、会員増強ができるかが今一番の課題です。

GOGO クラブ

【会長名】矢代 敏幸
 【創立年月日】平成25年7月16日
 【会員数】男14人 女37人 計51人



活動概要と展望

東山田四丁目を中心に活動を行い、平日の朝はラジオ体操、第3水曜日はさわやかティールームを開催、第2・第4水曜日はボッチャを主催の行事へも参加をして活動の幅を広げています。最近は会員の減少が見られるので、会員募集を行い、現状維持を図っているところです。これからも楽しく、明るく、元気なクラブ活動を続けられるよう、クラブ員の皆さんと努力してまいります。

大柵寿会

【会 長 名】吉野 登
 【創立年月日】昭和36年4月1日
 【会 員 数】男35人 女35人 計70人



現在の活動は、グラウンド・ゴルフ、歩け歩きの散歩会、茶話会、カラオケ会、町内行事への参加、小学校登下校の見守り、各老連主催のバス旅行への参加等の活動を行っています。

また、月に1度の理事会を中心に会の運営をしています。残念なことは、高齢化が進み参加者が30名程度に固定化している中で、一人でも多くの参加者を増やしたくお声掛けをしているのが現状です。「いつまでも元気な健康老人」を目標に一同頑張っています。

活動概要と展望

すみれ会

【会 長 名】永田 麗子
 【創立年月日】昭和50年12月7日
 【会 員 数】男29人 女42人 計71人



すみれ会は令和7年12月で満50年を迎える住宅街にあります。会員は67歳から100歳で60歳代・70歳代が少ない状況です。第2日曜日の定例会、第4日曜日の弥生会、年3回誕生会、新年会を開催しています。

また、月に数回、ラジオ体操、グラウンド・ゴルフ、ペタンク、囲碁の会、公園や町内会館の周囲の清掃ボランティアも行っています。高齢や体調不良で参加できない会員が増えており、皆さんが楽しく気軽に集える行事を考え、健康寿命を保って頑張りましょう。

活動概要と展望

東永楽会

【会 長 名】皆川ヒロ子
 【創立年月日】昭和36年9月12日
 【会 員 数】男19人 女42人 計61人



年号が変わり、思いもしない新型コロナウイルス感染症下に誰もがマスクをする時代になりました。我が老人会も班長を中心に毎月月初に会合を開き、会員にお知らせする活動に変まりました。固定の活動は月2回の健康体操、この時は中川地域ケアプラザのスタッフの方による勉強会となります。また、グラウンド・ゴルフ、民謡踊り、室内ボッチャ、手作り食事会なども行っています。問題は会員の高齢化と減少です。将来的にはお楽しみ会的な行事を行います。参加者が増えることを願っています。

活動概要と展望

永 楽 会

【会 長 名】田村 隆義
 【創立年月日】平成15年4月1日
 【会 員 数】男18人 女22人 計40人



コロナ禍からやつと抜け出し、この頃はグラウンド・ゴルフを毎週月曜日・金曜日の週2回、カラオケは第2・第4週の月2回、踊りは毎週木曜日の月4回、定例の食事とカラオケ、友愛の会合を含めた会議兼集会はほぼ3カ月に1回程度、日帰り旅行も計画を始めるようになりました。しかし、会員はまだ増やせるまでには至っていないのが現状で、今後はこの課題を全力で取り組みたいと思っています。今日この頃です。

活動概要と展望

勝田団地寿々の会

【会 長 名】小林 正一
 【創立年月日】昭和45年1月15日
 【会 員 数】男13人 女34人 計47人



勝田団地寿々の会は、今年で創立54年になります。歴代の会長が引いた路線を引き継ぎ、毎週月曜日は健康麻雀、火曜日はグラウンド・ゴルフ、金曜日はカラオケ。美化運動は勝田公園愛護会として月2回位の公園清掃を負担がかららないように行っています。年2回の日帰り旅行も会員の方々が楽しみにしています。会員も高齢で一人暮らしの方が多いため、コミュニケーションを取りながら見守りをして毎日を笑顔で過ごしていきたいと思っています。

活動概要と展望

勝田永寿会

【会 長 名】平野 輝男
 【創立年月日】昭和36年9月1日
 【会 員 数】男26人 女30人 計56人



勝田永寿会は歴史のある老人会です。勝田町と勝田南町内会（一丁目・二丁目）の地域の会員で構成されています。活動内容はグラウンド・ゴルフなどのスポーツ、囲碁、将棋、絵手紙の会、友愛活動などを行っています。定例会、公園、会館清掃等も年中行事として行っています。また、町内会の行事にもそれぞれの行事に見合った部門が活動に参加して楽しんでいます。

活動概要と展望

かちだひまわり会

【会 長 名】神作 光夫
 【創立年月日】平成10年4月1日
 【会 員 数】男14人 女24人 計38人



数年に渡るコロナ禍を経験し、何とも縛られず「自由」に動ける幸せを感じております。かちだひまわり会も会員同士で誘い合って地域の清掃活動・楽しく声を出そうとカラオケ会・茶話会等を通して会員の意見も聞けるようになりました。そんな会話の中に「一人暮らしの高齢者の方が部屋の中の電球等の交換に困っている」等の話がありました。役員会で話し合い、必ず複数の人で何う等の決めごとを作り、高齢者の困りごと支援の活動を会として支え合っていきたいと思えます。

活動概要と展望

勝田団地第一東寿会

【会 長 名】高田 敏明
 【創立年月日】昭和56年9月13日
 【会 員 数】男23人 女24人 計47人



令和2年12月、ハマロードバス停にて、勝田団地自治会、第一東寿会、勝田小学校3年2組、タウンニュース記者が集合して、第一東寿会の指導でチューリップの球根植えつけを行いました。その後、花が咲きバスを待つ人や地域の人々に大変喜ばれました。また、令和5年、ハマロードサポーターと小学校4年生とで学校周辺の銀杏並木に花壇を作り、都筑土木事務所の推薦を受け、国土交通大臣から感謝状をいただきました。

活動概要と展望